

## 土台パッキンL105・120

### ■設計施工時の注意

- 本製品は3階建て以下の木造住宅用部材です。鉄骨造には使用できません。
- 本製品は右表の通り土台と適合します。その他の土台を用いた場合は使用を禁止します。
- 土台パッキンLに、土台を介さず直接柱を立てることは禁止します。
- 土台パッキンLは防鼠機能を併せ持っておりますので、防鼠材の取付けは不要です。
- 換気面積は79cm<sup>2</sup>/m (316cm<sup>2</sup>/4m)となります。

### ■適合土台寸法

製品	軸組	桝組	対応基礎幅
L105	105角	404材	125まで
	120角		
L120	120角	406材	140まで
	135角		



**注意** 必ず確認してください

- アカマツ、クロマツ、ベイマツおよび広葉樹等の、めり込み基準強度F<sub>cv</sub>が8.1N/mm<sup>2</sup>を超える土台を使用する場合は構造確認が必要となります。フクビまでご相談ください。
- 土台パッキンLを使用している事を基礎の仕上モルタル施工者に必ずお知らせ頂き、仕上モルタルで通気孔を塞がないようにご配慮ください。

### ■アンカーボルトの埋設について

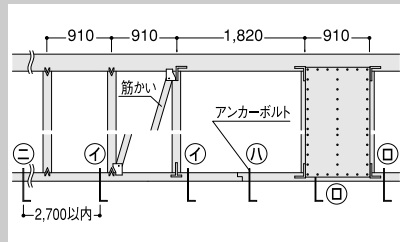
①アンカーボルトは住宅金融支援機構監修の共通仕様書またはそれと同等以上の基準に基づき、埋設してください。

②土台パッキンL使用時の適正なホールダウン金物、アンカーボルトの位置は下図の通りです。

#### 住宅金融支援機構監修仕様書のアンカーボルト埋込み位置

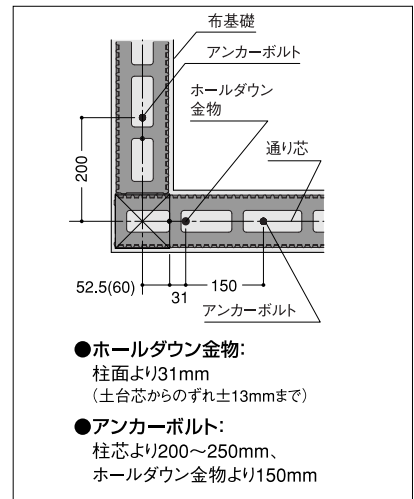
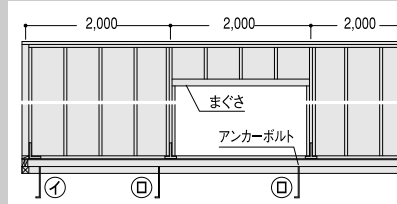
##### <在来軸組工法>

- 筋かいを設けた耐力壁の部分は、その両端の柱の下部にそれぞれ近接した位置。
  - 構造用合板等を張った耐力壁の部分は、その両端の柱の下部にそれぞれ近接した位置。
  - 土台切れの箇所、土台の継手および仕口の上木端部。なお、当該箇所が出隅部分の場合は、できるだけ柱に近接した位置とする。
- 二) 上記イ、ロおよびハ以外の部分においては、間隔2.7m以内の位置。



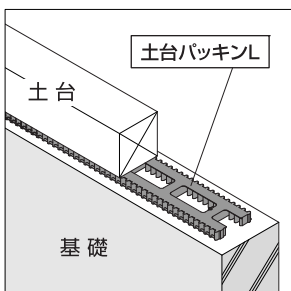
##### <桝組壁工法>

- 住宅の隅角部付近、土台の継手付近とし、その他の部分は間隔2.0m以内。
- 1階床を土間コンクリートで構成する場合、床に達する開口部（掃き出し窓）を設けた場合は、上記イの他まぐさが取り付くたて桝の150mm内外の部分。



- ホールダウン金物:  
柱面より31mm  
(土台芯からのずれ±13mmまで)
- アンカーボルト:  
柱芯より200~250mm、  
ホールダウン金物より150mm

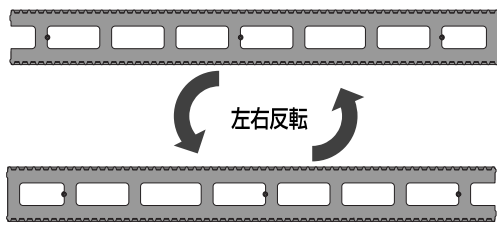
### ■施工手順



①土台パッキンLは土台芯合わせとし、平滑面のある方を土台側として基礎全面に隙間なく敷き詰めてください。

土台パッキンLを左右反転させて使用することにより、ブリッジ部がアンカーボルトと干渉するのを避けることができます。

#### ●左右反転時のブリッジ位置



②ずれ防止のため、端部やコーナー部の土台パッキンLを1本以上のコンクリート釘にて固定することをお勧めします。

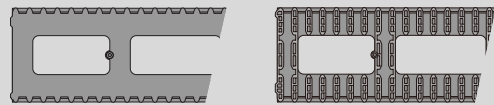
③端部やコーナー部では適正な長さに土台パッキンLをまっすぐ切断してください。

### △注意

●平滑面のあるほうを必ず上面(土台側)としてください。裏表を間違えると土台のめり込みを生ずる危険性があります。

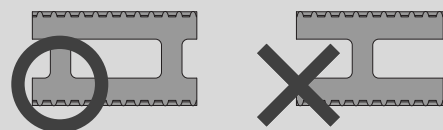
**オモテ** 土台側

**ウラ** 基礎側



- パッキン本体を放り投げる、金づちでたたくなど不当な負荷、衝撃、熱をかけたください。破損の原因になります。
- ジョイント部をしっかり突き付け、隙間なく施工してください(隙間5mmまで)。不当な隙間がある場合、土台パッキンLの防鼠機能や強度性能が発揮できない場合があります。

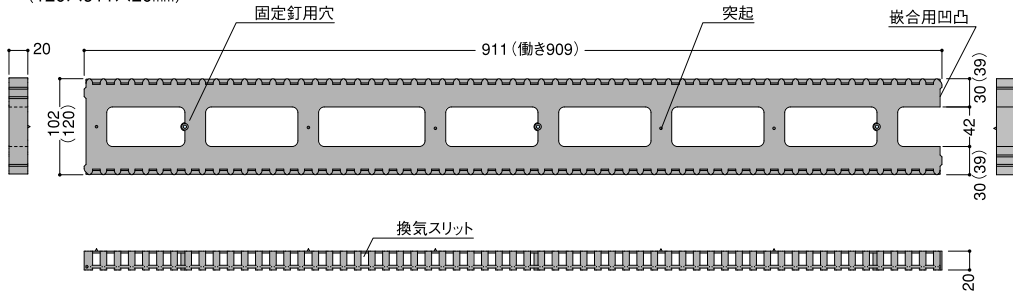
- 安全性保持のため、土台パッキンLには切断以外の加工を加えないでください。
- 安全性保持のため、ハシゴ部分が2個以上ない状態に切断された土台パッキンLは使用を禁止します。



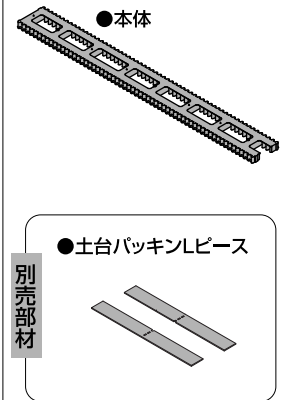
■製品図

- 土台パッキンL105 (102×911×20mm)
- 土台パッキンL120 (120×911×20mm)

※( )内寸法は、土台パッキンL120の寸法を示します。



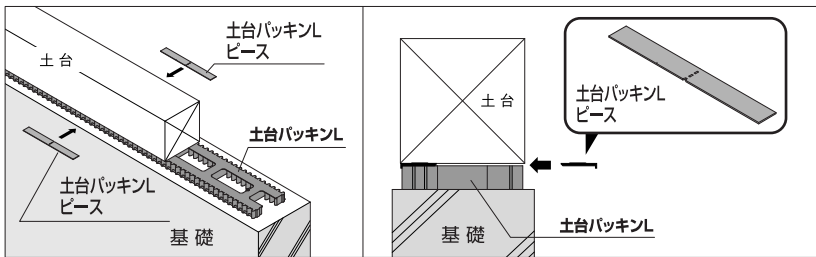
■構成部材



■施工後の措置

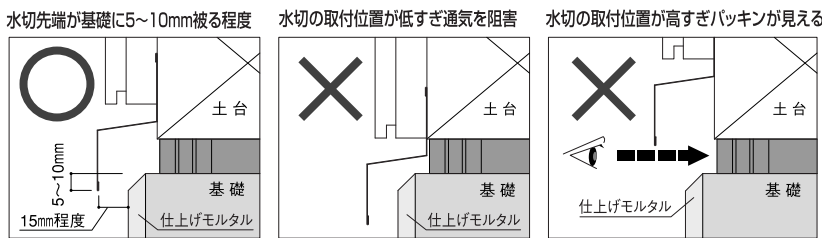
- 土台パッキンピース  
土台パッキンピースは土台パッキンと土台の間に隙間がある場合に高さ調整材として使用します。隙間がある箇所に土台の両側から1枚ずつ挿し込んで使用してください。入りにくい場合は当て木をして、ハンマーで軽く叩いて挿入してください。

⚠注意 ●土台パッキンピースを重ねて使用する場合は2枚までとしてください。



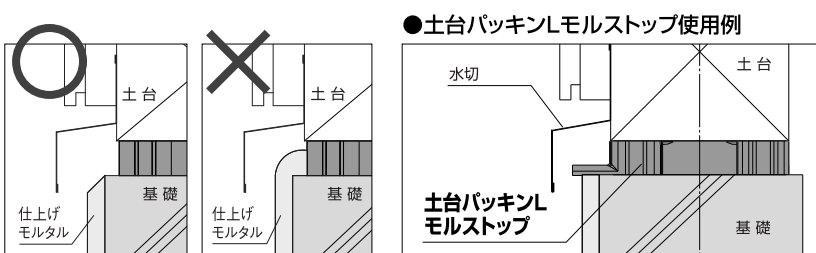
- 防鼠材  
土台パッキンLは防鼠機能を備えておりますので、防鼠材の施工は必要ありません。

- 水切  
水切の取り付けは、下図を参考に基礎天端と水切の間の通気層を15mm程度確保できるように水切を選定し、通気層をふさがず、かつパッキンをおおうことができる高さに取付けてください。



- 仕上げモルタル  
箱の内蓋部分の下記印刷部分を切断し、基礎部分に貼り付けてご活用ください。

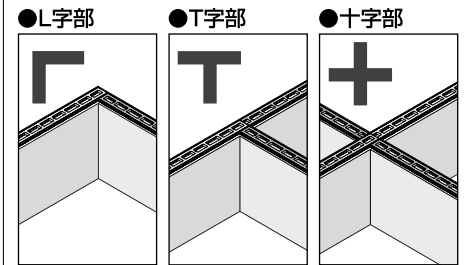
基礎-土台間に土台パッキンLが施工してあります  
基礎仕上モルタルを塗る際は通気孔を塞がないようご注意ください



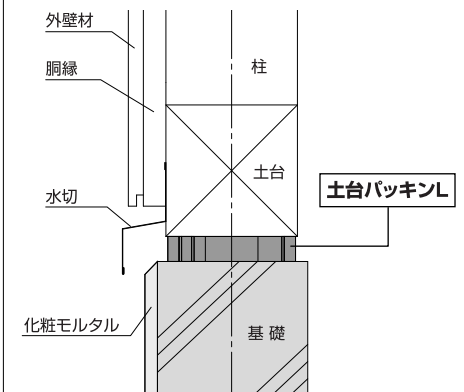
※土台パッキンモルストップをお使い頂くとききれいに納まります。

■参考納まり図

■使用部位



●軸組断面図



●枠組断面図(2×4工法)

